

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人口

— 2月29日現在 —

9,140人 男 4,442人 女 4,698人
世帯数 2,580
転入 26 出生 8
転出 34 死亡 7



春の訪れ……「高森の初市」
南郷谷に春の訪れを告げる高森の初市が、今年も三月二十日から三日間開かれ、歩行者天国となった産交バスターミナルから横町通りにかけては、のんびり露天を見て歩く家族連れでにぎわいました。
高森の初市は、いつも「アメ(雨)市」といわれるように、今年も二日目雨が雨のち雪といった天候。しかし、最終日はうららかな陽気にさそわれて子供連れの主婦やお年寄りが街に繰り出し、花木や綿菓子、市アメなどを買い求めていました。

第296号
昭和59年

4月

お も な 内 容

- 59年度一般会計予算、22億3,900万円 ……(2)(3)
- 町議会一般質問 ……(4)
- 町議会で可決した主な案件 ……(5)
- 新学期ノ 交通事故に注意 ……(6)
- 訓練の成果競う(消防ポンプ操法大会) ……(7)
- 中央公民館だより ……(9)
- みんなの広場 ……(11)

休 日	4月15日	4月22日	4月29日	4月30日	5月3日	5月5日	5月6日
在宅医	平田 田 0126	馬原 医 046	東 医 0309	寺崎 医 0378	立 病 0111	渡 医 0177	後藤 医 0119
火事・救急車は	119	119	119	119	119	119	119

診療は午前9時から午後5時まで

町民文芸

肥後狂句

しよてから 聖職じゃ無ア教育屋
陽の当り 田楽芋の植え足らん
名刺代り 孤樽で来る御当選
陽の当り ケロイドになる雪ダルマ
同窓会 傷見せ合うて弾む酒
名刺代り えらい寸志の届いとる
お邪魔様 鶴が旅立つ北帰行
曲り角 もう種豚も売らんなん
大黒柱 息抜きしとる暇無ア
ああ無情 ハウスに雪の植わつとる

俳句

風花や来客も無し用も無し
鳥よ樹よ並べて春待つところかな
悪筆を心にしめて年賀書く
乳しほる背に初日のぬくみ射す
初売りの歌高らかに村に入り
雪の道車押す子等頼もしき
万物の動かさる如深雪かな
雪に風息を殺して背を丸め
雪掻きを今日の仕事の一にして

田上黙公子
山村 不覚
岡本 琴司
馬原 馬笑
林 不忘
松野 笑声
石田 詩朗
篠田 一声
浦塚 南天

後藤やよい
阿部タツエ
後藤 固
森 政隆
白石 政憲
後藤 法龍
本田 訓子
森 正六
後藤 春風

おめでた おくやみ

S59. 2. 1 ~ 2. 29 受付

【出 生】					(出生年月日)
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)		
下 町	牛嶋今朝光	薫	女	S59. 1. 29	
上 町	馬原 孝一	京 子	〃		1. 31
中 園	安方 含	揮一朗	男		2. 3
下 町	岡本 直	祥	〃		2. 6
東中原	佐伯 隆	聡 美	女		2. 7
上 町	藤本 義子	宏 子	〃		2. 22
矢津田	本田 恭輔	裕 輔	男		2. 6
津留1	工藤 次生	健 太	〃		1. 24

【死 亡】							
(住所)		(遺 族)		(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死 亡)
						(年 月 日)	
西 丁	宇藤	利晴	母	宇藤	ミスエ	82 59. 2. 9	
下 町	佐竹	タケノ	夫	佐竹	逸雄	92 2. 11	
戸 符	岩下	常二	養母	岩下	ソヨ	92 2. 14	
矢津田	安在	國夫	緑故	安在	清人	55 2. 3	
中	本田	嘉達	〃	本田	キツ	85 2. 14	
芹 口	工藤	勲	父	工藤	今朝重	74 2. 23	
〃	工藤	政義	緑故	江藤	清忠	80 2. 26	

【結 婚】		(氏名)	(住所)	(婚姻届年月日)
(夫 野 中 謙 三 色 見 戸 狩	(妻 生田) 裕美子 菊池 郡 泗水 町			59. 2. 12
(夫 高田) 稔 高 森 上 在	(妻 栗 千代美 〃 〃 〃			2. 14
(夫 高 木 弘 実 阿 蘇 郡 白水 村	(妻 武田) 恵 美 高 森 横 町			2. 26

◎町社会福祉協議会
▽香典返し▽
▽河原・黒岩の鶴林来さんから

(妻、ナツヨさん・70歳死去)
▽中・中村の本田明夫さんから
(縁故者、キツさん・85歳死去)
▽色見・小倉原の小糸ケサ子さん

◎その他の寄付
▽草部北部老人会、五六会から草部北部小中学校へスリッパ百足

(こ) (寄) (付)

ありがとうございました

道曲り高まる瀬音猫柳
降る雨に心春立つ層はぐ
雪遊ぶそこに見えたり彼岸かな
物の芽に日毎心を弾ませて
立つ春の夜なれば想ひ暖かし
芽木の雨心忙しくなりけり
酌み交す心暖か里祭
早春の椿に歯打つ音近く
種おろす女ばかりの笑ひ声
後戻りつつも僅かに春隣

熊谷 紫雲
野尻 さだむ
野尻 誓道
草村 鶴代
熊谷起代女
馬原その女
草村あつ代
熊谷 つ子
長友 たつ子
野尻 里女

から
(夫、忠光さん・75歳死去)
▽高森・上在中川堅さんから
(母、アイコさん・69歳死去)
◎老人クラブ
▽色見・戸狩の岩下常二さんから
「熊野会」へ金一封
▽色見・西丁の宇藤利晴さんから
「中西会」へ金一封
▽色見・西丁の山室ツユさんから
「中西会」へ金一封

前年度比一二・八三%の伸び

振興計画事業に重点

第一回定例町議会は、三月十二日から二十一日まで開かれ、五十九年度当初予算案、五十八年度最終補正予算案、条例の改正を含む二十七議案が原案どおり可決されました。新年度の一般会計予算は二十二億三千九百六十八万円、前年度に比べると一二・八三%の増となっています。予算編成にあたっては①事務、事業の計画的執行を基調とした振興計画事業の推進 ②徹底した節減合理化 ③予算運営秩序の確立と財政の健全性、弾力性の確保などを基本方針としました。

歳入予算のあらまし

トップは歳入の四二・六割を占める地方交付税、九億五千五百万円で、ほぼ昨年並みとなっています。

計予算 3900万円

町税は前年比七・八割の伸びで、総額二億八千五百六十二万円。内訳は町民税一億一千三百九十六万九千円、固定資産税一億二千七百三十三万八千円、軽自動車税五百五十四万八千円、たばこ消費税二千九百八十一万六千円、電気税一千四百七十五万円、木材引取税八十万円となっています。

町の借金(町債)は総額二十三億円

町債(町の借金)は二億六千三百五十万円、五十九年度末の合計額は二十三億四千五百三十五万六千円(元金のみ)となります。主な借入先は大蔵省、郵政省、熊本県、公営企業金融公庫で、町道改良、草部北部小学校改築、総合グラウンド建設、町有林整備などの事業に使われます。

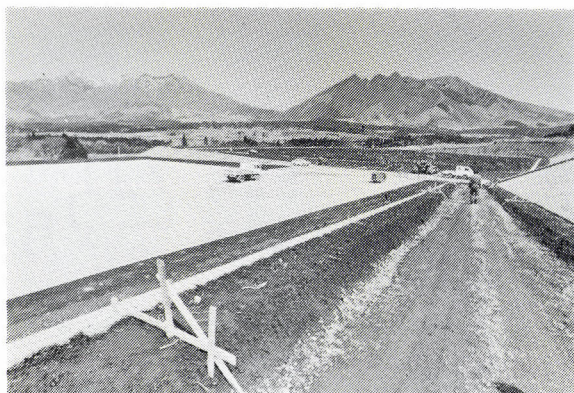
歳出予算のあらまし

支出の費目別構成は、総務費が四億一千二百九十二万二千円でトップ、以下教育費の三億八千八百八十四万九千円、農林水産業費の三億六千二百五十三万三千円、公債費の二億八千八百五十九万六千円、土木費の二億七千三百九十七万三千円、民生費の二億二千九百七十二万三千円などの順になっています。

59年度の主な事業

総務費

- ▼町有林の新植、下刈り、枝打ちなど、十一団地、百五十畝 六十八万五千円
- ▼ファクシミリ(模写電送装置)の使用料 百七十九万六千円
- ▼町有未登記土地の登記手数料 百万円
- ▼「広報たかもり」の印刷代 百十四万円
- ▼企業誘致のための用地購入費 七千八百万円
- ▼不採算バス運行の負担金(高森・多々野線、高森・洗川線) 百四十七万九千円
- ▼ガードレール、カーブミラー、道路区画線などの交通安全施設整備 四百五十三万五千円
- ▼色見・山鳥・井上地区の地籍調査事業(二・七四平方キ) 一千二百四十四万九千円
- ▼農業センサスなどの統計調査費 百七十七万三千円



完成間近の総合グラウンド



郡生活改善グループ

技術交換会意見発表から

わが家の農業経営

上色見・前原 白石 三千代



私は、昭和三十年に農家の長男である主人と結婚、祖父、父母、それにきょうだい八人の大家族の一員となり、農家の嫁として、慣れない農作業を続けてきました。当時の色見地区は水の便に恵まれず、一枚の水田もありませんでした。陸稲、トウモロコシ、サトイモなどの主作物と畜産とを組み合わせた、まことに多忙な、しかも低所得の貧しい生活でした。

昭和三十五、六年ころのことでした、青年の間に四日クラブの運動が起こり、当時の役場経済課、農業改良普及所の指導により、ミノセダイコンの試作が行われ、これが好成績を上げ、加工ダイコンとして大々的に栽培されるようになりました。私の家でもいち早く主幹作物として取り入れ、わが家の経営もやっと安定したかに見えたが、次第に連作による障害が現れ、収量も減少し始めました。このまま続けられれば再び低所得の不安定な経営状態になることは明らかでした。

養蚕が、町の構造改善事業の一つとして取り上げられたのを機会に、一・九畝の桑園、七十坪の養蚕小屋を新設して取り組みました。しかし、これは予想以上に労力、収益その他の面で都合が多く、特に火山灰の被害がひどかった色見地区では一年中収穫皆無という厳しい現実を直面し、数年でやめてしまい、残ったのは借金だけという惨めな結果でした。

丁度そのころ、勧める人があって、広い耕地、安い土地という立地条件を生かし、低い収入でも台風、干ばつなどに左右されにくい街路樹、公園木などの栽培を始めました。これも、色々とう困難な問題もあり思うようにはいきません。

特に販売面に苦労が多いようですが、始めたからには続けなくてはなりません。

長男も後を継いでくれることだ

総合グラウンドのトイレは充実して

老人クラブ「若葉会」 岩下 亀

本町にも、待望の総合グラウンドが建設中であり、町民の一人として、非常にうれしく思っています。しかし、一つ不安があります。

出火のお詫びとお礼

三月四日、不慮の出火に際しまして、皆様大変ご迷惑をおかけしました。また消防団の方々には献身的な消火作業に努めていただき、深く感謝申し上げます。

そのうえ、各方面からたくさんのお見舞いまでいただき、なんとお礼の申し上げようがありません。実は早速、戸別にお伺いしてお礼を申し述べたのが本筋ですが、とりあえず町広報紙をお借りしてお礼にかせさせていただきます。

高森・昭和 渡辺 博己

みんなの広場へご投稿ください

このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近な話題や、できごと、提言などをお寄せください。原稿のあて先は役場企画課広報統計係。住所、氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また、新しく開設した「広報・テレホンサービス」についての感想もお待ちします。

中でも女子用のトイレが不足していて、数十人の女性が列をなしているのを見かけることがよくあり、本当に気の毒と思います。

本町のグラウンドも、完成したら大きなスポーツ大会が数多く行われることもあるのですから、人数に見合うトイレの充実を考慮していただきたいと思っています。

お知らせのページ

労働保険料の申告納付はお早く

五十九年度の労働保険料の申告・納付の受付が、四月一日から五月十五日まで行われています。まだ手続きをされていない事業主の方は早めに済ませてください。なお、今年は適用基準及び労災保険率が一部改正されましたので、保険料の計算の際には注意してください。

詳しいことは、最寄りの労働基準監督署か熊本労働基準局労災補償課、熊本県雇用保険課にお尋ねください。

消防官採用試験が実施されます

東京消防庁では、次のとおり消防官の採用試験を行います。

◆採用予定人員 約二百人

◆受験資格 ▽三十年四月二日から四十二年四月一日までに生まれた男子 ▽日本国籍を有する人

◆試験の方法 (1)第一次試験(五月十二日、択一式一般教養試験並

今月の支払日 (内) (外) 5月16日 5月25日

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時まで。

びに作文試験) (2)第二次試験(▽五月二十八日、二十九日、身体及び体力検査 ▽五月三十日、三十一日、面接試験)

◆受験申込受付期間 四月二十三日から五月八日まで

◆採用予定 五十九年七月以降

◆問い合わせ先 ☎100 東京都千代田区大手町一丁目三一五 東京消防庁人事課採用係 (☎03-2121-2111内線435)

「道」づくり提案募集

日本の道を考える会では、今後の道づくりのあり方を探るために、建設的な提案を募集しています。

木材共販市況			
3/28市況		高森町森林組合	
スギ	ヒノキ	安値	高値
長さ	径級		
4 m	7~13cm	10,000	22,500
	14~22	21,600	31,000
	24~28	22,000	34,000
	30以上	—	100,000
3 m	7~12	10,500	15,900
	13~18	15,600	25,000
	20~28	22,800	24,500
	30以上	—	55,000
2 m	7~14	9,000	—
	16~28	15,000	18,000
	30以上	20,300	—
6 m	13~18	—	26,000
出荷なし			

◆テーマ 道路に関すること。暮しに密着した路地、足元道路、地区内道路、あるいは社会の動脈である幹線道路や物流を担う道路など、それぞれの道路のあり方、活用法、未来像、道づくりのアイデア

◆応募規定 ▽四百字詰原稿用紙十枚以上三十枚以内(写真、図面などの添付は自由) ▽提案は未発表のもので日本語に限り、属します。▽住所、氏名、年齢、職業、会社名、団体名、グループで応募の場合は代表者及び全員の名前を記入。▽応募原稿は返却しません。

◆応募資格 十八歳以上の男女(国籍は問いません。団体でも可)

◆募集期間 四月三十日まで(当日消印有効)

◆発表 七月上旬

◆賞 ▽特選 一人(賞金五十万円) ▽佳作 十人(賞金五万円)

◆作品の送り先 ☎100 東京都千代田区一ツ橋一丁目 毎日新聞社企画センター「道」づくり提案係(☎03-2121-0321)

第17回熊本ブロック大会を開催

阿蘇青年会議所

阿蘇青年会議所では、たしかめよう阿蘇の地で、語ろう新しい熊本の時代表をスローガンに、第七回熊本ブロック大会を次のとおり開催します。

☆主会場 阿蘇町立体育館

☆プログラム ▽五月十二日 午後七時から九時まで 大会前夜祭(日本一コーナー、赤牛バーベキュー)

▽五月十三日 午前九時三十分から午後零時三十分 式典、パネルディスカッション「日本一をめざして」

多数ご参加ください。

無料法律相談

▽日時 四月二十一日(土) 午後一時から

▽場所 中央公民館(旧町民センター)

スタンドの日曜営業店

阿蘇南部地区

ガソリンスタンドでは、各日曜日ごとに、輪番店を決めて営業をしています。阿蘇南部では次のとおり営業します。

四月十五日 丸野石油店(立野) 甲斐石油(津留) 高森ストーク石油(高森)

四月二十二日 大協布田石油(立野) 安藤石油(草部) 高森石油(高森)

五月十三日 丸野石油店(立野) 甲斐石油(津留) 塚本石油(高森)

59年度一般会 22億

一般会計歳入 (単位: 千円、△は減)			
款	本年度予算額	構成比%	伸率%
1. 町税	285,621	12.75	7.85
2. 地方譲与税	41,500	1.85	△ 1.19
3. 自動車取得税交付金	24,800	1.11	△ 0.80
4. 地方交付税	955,000	42.64	1.60
5. 分担金及び負担金	102,067	4.56	271.06
6. 使用料及び手数料	31,323	1.40	△ 4.48
7. 国庫支出金	205,272	9.17	60.42
8. 県支出金	146,560	6.54	△ 10.69
9. 財産収入	2,754	0.12	273.68
10. 寄附入金	—	—	皆減
11. 繰入金	158,000	7.05	281.14
12. 繰越入金	10,000	0.45	△ 88.89
13. 諸収	13,283	0.59	△ 1.00
14. 地方債	263,500	11.77	24.18
歳入合計	2,239,680	100.00	12.83

一般会計歳出 (単位: 千円、△は減)			
款	本年度予算額	構成比%	伸率%
1. 議会費	56,289	2.51	2.90
2. 総務費	412,922	18.44	14.62
3. 民生費	229,723	10.26	1.73
4. 衛生費	101,450	4.53	10.68
5. 農林水産業費	362,053	16.17	△ 10.71
6. 商工産業費	42,949	1.92	236.04
7. 土木防衛費	273,973	12.23	6.14
8. 消防費	83,392	3.72	△ 2.07
9. 教育費	381,849	17.05	69.31
10. 災害復旧費	1,726	0.08	14.61
11. 公害費	288,596	12.88	10.98
12. 公営住宅費	4,758	0.21	20.52
歳出合計	2,239,680	100.00	12.83

民生費

▼福祉団体に対する助成金(労働者福祉協会など十一団体) 二百三十一万八千円。

▼重度心身障害者(児)に対する扶助料 七百三十八万円。

▼敬老会の費用 百四十八万円。

▼寝たきり老人のための家庭奉仕員(ホームヘルパー)委託料 二百七十七万五千円。

▼老人ホーム(みやま荘、湯の里荘)の負担金 三百七十七万五千円。

▼老人クラブへの助成金 五十万五千円。

衛生費

▼広域事務組合への負担金

◎衛生施設組合(し尿処理) 一千三十五万九千円。

◎高森町外三カ村清掃組合(ごみ処理) 一千九百七十六万五千円。

◎母子健康センター(助産施設) 三百七十四万四千円。

▼山東部の清掃業務委託(ごみ収集) 二百五十万円。

農林水産業費

▼たばこ作付推進事業に対する補助 三百五十七万四千円。

▼農家経営安定資金利子補給 十一万四千円。

土木費

▼七百七十六万三千円。

▼公社管畜産基地建設事業の負担金 六千七百七十五万円。

▼内山ため池の改修工事 七百七十一万円。

▼農道管理助成(西丁ほか九地区) 四千三百六十三万四千円

▼池の迫地区の農免道路整備の町負担金 四百万円。

▼間伐作業道(平原線)の整備 二百十万円。

▼山村広場(総合グラウンド)の建設事業 一億八千二百一十三千円。

▼山村広場内に東屋、便所の建築、花木の植栽など 二千九百一十一万四千円。

消防費

▼風鎮祭に対する助成 百五十万円。

▼商工会助成 四百万円。

教育費

▼高森高校通学生に対する奨励金 三百五十五万七千円。

▼草部北部小学校改築工事(鉄筋コンクリート造、八百五十平方メートル) 一億二千三百万円。

▼野尻中学校プール改修 三百二十万円。

▼体育協会助成 百四十万円

▼山村広場にテニスコート四面建設 二千三百八万九千円。



改築が予定されている草部北小

地域振興など焦点に

町長 企業誘致には鋭意努力

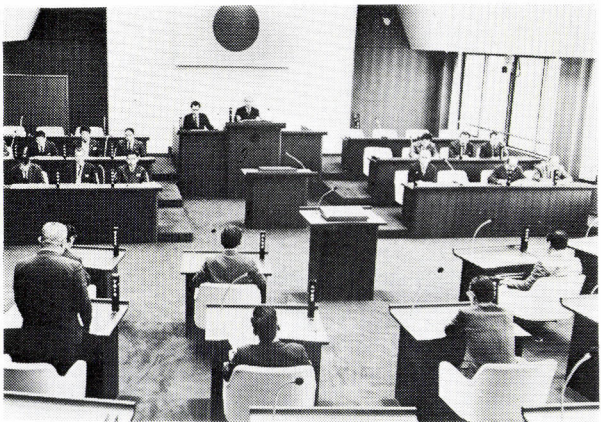
一般質問

高森町三月定例町議会は、三月十二日から二十一日まで十日間の日程で開かれ、十六日の一般質問では、主に中学校統合問題や地域振興策などを焦点に論議が繰りひろげられました。この日、傍聴席には老人クラブ有志多数の顔も見られ、熱心に審議のように入っていました。以下、四議員の一般質問の質疑応答の要旨は次のとおりです。

A議員 野尻、草部北部、河原 区ごとに座談会を開き、校区民の三中学校統合については、各校 理解と協力が得られたら六十一

開校を目指し努力するとのことであったが、現状はどのような状況になっているのか。

瀬井町長 現在町内の小中学校十三校のうち八校が老朽校



三月定例町議会の本会議場



一般質問に答える瀬井町長

舎になっている。三中学校統合については、学校統合審議会に諮問した結果、統合することに賛成するとの答申だった。教育委員会が、校区ごとの座談会を計画しているが、積雪のためまだ開いていない。早急に座談会を開き校区民の協力を得て、六十一開校を目指したい。

A議員 本町の振興計画(案)によると、道町の舗装率は六十五年度で六〇割とのことであるが、他の町村では九〇割を超えているところもあるようだ。町の今後の対応をお尋ねしたい。

瀬井町長 本町は町道が百七十

三路線、その総延長は二百十六キロにもおよび広大な地域である。町単独での改良舗装は財政上厳しいので、補助事業などにより計画を進めている。現時点で町道を一〇〇割改良舗装するためには二十四億円が必要だ。そこで、今後は地域住民の要望に添うよう現道のままでも舗装を進めていきたい。

町振興の基本はまず人づくり

B議員 全国的に「村づくり」「町づくり」といった「ふるさとづくり運動」が展開されている。熊本県においても「熊本県日本一づくり運動」を五十九年度からスタートさせるが、これは農林水産業をはじめ、商工業の振興、観光資源の開発などの基本は人づくりであると同時に、個性ある地域づくりを進めるのがねらいのよう

だ。

二十世紀に向けて、よりよい町づくりの基本は人づくりと考える。本町の振興計画案においては人間形成の基礎である幼児教育から高校教育までが述べてあるが、町は特に地域の後継者づくり、環境づくりについては、どのように進めるのか。

瀬井町長 住みよい、明るい活力ある町づくりには、まず人づくりが大切。産業の振興、交通通信

体系の整備、社会福祉の充実、文化施設の整備と文化活動の振興、文化財の保護などが必要と思われる。いま農家は、農産物の輸入拡大により大きな被害を受けつつある。本町の将来の農業を考え、いま以上に活気づけるためには農業後継者を対象とした研修を行うことも必要だ。そこで、新年度予算においては、そのための研修費も計上している。

また町の過疎に歯止めをかけるには、就業の場を確保することが急務で、今後も引き続き企業誘致に努力したい。

C議員 玄関ロビーに設置されている案内板は町民にとって分かりにくい。番号などを使って標示してはどうか。

瀬井町長 現在は各課とも課長が窓口側について来客に応待している。番号による各課標示はいい方法なので検討したい。

活性化事業で工場誘致を計画

D議員 農家の経営は低迷の一途をたどっている。企業誘致による町の活性化も必要だが、地場産業の振興が根本的に町を生き返らせると思う。

例えば陸稲、山菜、赤牛の肉などを加工する企業誘致や農林・畜

通い合う友を得ることも可能だと思います。

献本のお願

中央公民館では、図書室を多くの皆さんに利用していただくため、図書の充実に努めています。が、限られた予算内の図書購入では充分なものとはいえません。ご家庭で読み終えられて不用になった本、あるいは本棚に眠っている本(文学、歴史、社会、家事、園芸、育児など)がありましたらぜひご寄付ください。

中央公民館だより

読書のすすめ

読書グループ 福島民子

供の読書感想文を読むと、年々彼女なりにまとめがしっかりしてきているし、捕えるところはちゃん



が激しくなり、早〇歳にしてポケの兆候のある(？)自分に対する「読書のすすめ」です。頭の体操に、読書はもってこいと聞きます。

小学四年の長女は、寝る前に四、五冊の本を読むと言います。そんなに読めるわけがないと言うと、何回も読んだ本だから、さっと読めるのだと言います。布団に入ってから読むから視力の低下が気になりますが、目だけは自信のある私の子ですから、大丈夫でしょう。姿勢がどうのこうのと注文をつけて、本を読む気を損じたら何にもならないと思い、子供に任せています。学校で書かされる子

健寿大学

「暮しの中の俳句」より

ひよどりの声遠近に春の風
阿蘇山の雪もとけたり春彼岸
植え替えて初芽を見せる梅の春
彼岸来てせわしくなりぬ老人も
肥後椿雪に埋もれしまいけり
卒業の孫を迎えて祝い膳
彼岸過ぎ正月の雪残りおり
トンネルを抜けた思いの春日和
測量の杭打つわきに露のとう
春風やそぞろ飛び交う小鳥たち
春の市思はぬ寒に店閉める
初市も終りて今日の晴れわたる
初産の仔牛に寒き春の雪
春雪にとまどいており梅の花

熊谷 乾
瀬井 広
渡辺 当
岩下 保
本田 結
白石 正
井上 壯
岩下 屹
津留 登
佐藤 剛
谷川 登
馬原 千
田上 幸
桐原 頼

健寿大学卒業にあたって

ひとと世の学びの庭を今を終えて
また来る春を待つぞ楽し

荒牧 末喜
切原 初熊
海津 典夫
内田 秀憲
那須 道則
興梠 義光
野依とせ
後藤千枝子
谷川万代子
後藤 リエ
後藤 アイ
西條 操
山室 つゆ
山村 純代
黒田 マス
西嶋 要吉

健康で豊かな暮らしをつくる

阿蘇郡生活改善グループ技術交換会

阿蘇郡生活改善グループ技術交換会は、二月二十九日林業総合センターに郡内各地の会員約二百人が出席して、開かれました。



改良衣服に関心を寄せる主婦

これは日ごろ各地区で生活改善に取り組んでいる主婦たちが一堂に集まり、

午後からは、郡内四グループの代表が、それぞれ自分の体験に基づいた活動実績を報告、参加者もメモを取りながら熱心に聴き入っていました。

本町からは前原グループの白石三千代さん(四六)が、畑作地帯の農業経営の難しさ、経営安定のための努力などを報告しました。

草部支部が総合優勝

県四半的競射大会

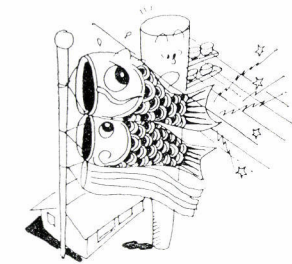
第一回県四半的弓道総合競射大会(県四半的弓道連盟主催)が三月十一日植木町で開かれ、本町から出場した草部支部チーム(渡辺昭光支部長)が一般団体の部で優勝しました。

大会宣言、来賓祝辞のあと、草部支部チームの渡辺昭光さん、二子石光義さんが礼射を披露し、高齡者と一緒に二部門に分かれて競技がスタートしました。その結果、草部支部チームが一般の部で団体優勝しました。

渡辺支部長は「健康づくりはもちろん、四半的を通じて大勢の友だちと知り合い、親ほくを深めるのも意義深いと思います」と話していました。

こいのぼりが電線にふれないようにご注意ください

さわやかな初夏の風物詩、こいのぼりも電線の近くで泳がせると、思わぬ感電事故につながるかもしれません。事故防止のため、次のようなことにご注意ください。



これまで数々の大会に出場、県城北プロック大会優勝三回、天草松島大会三位など、着々と実力をつけており、県内でも注目されるチームの一つに成長しました。



優勝した県四半的弓道連盟草部支部

三月町議会で可決した主な案件

固定資産評価審査委員会委員に工藤連さんを選任

本町固定資産評価審査委員会委員の伊藤公博さんの任期が五十九年五月十一日で満了するため、後任に工藤連さんを選任しました。工藤連さんは、大字永野原一三九三番地、昭和四年六月一日生まれ。

消防団員の年報酬を改定

町消防団員の年報酬を次のとおり改定しました。(カッコ内は旧

報酬額)

▽団長・八万四千元(八万七千元)▽副団長・五万九千元(五万七千元)▽本部長・五万九千元(五万七千元)▽本部長・四万八千元(四万六千元)▽分団長・四万六千元(四万四千元)▽部長・二万六千元(二万五千元)▽班長・一万九千八百円(一万九千円)▽団員・一万四千五百円(一万四千元)

国民健康保険の助産費を十万円に引き上げ

国民健康保険の助産費は、他の

保険との均衡を保つため、四月一日から八万円が十万円に引き上げられます。

五十八年度一般会計に一億五百七十七万四千円を追加

五十八年度一般会計の特別交付税と地方債が確定されたのにもとない、一億五百七十七万四千円を追加補正し、総額を二十三億七千七百九十八万八千円としました。歳出補正の主なものは財政調整基金の一億三千九百七十七万二千円。

「現在まで地域経済、産業発展の担い手として、また地域住民の足として大きく貢献してきた高森線を存続させることは地域住民が最も願うことである。よって、南部六カ町村はもとより、本町議会はいかなる手段を問わず、高森線を存続する」

国鉄の「地域別旅客運賃制」導入に関する意見書を提出

地方線の赤字を理由にした「地域別旅客運賃制」は、公共交通の使命を放棄したものであり、過疎地の町民、利用者に犠牲を押しつけるものとして、運輸大臣には値上げ案を認可しないよう、また国鉄総裁には申請書を撤回するよう意見書を提出しました。

農産物の輸入自由化・枠拡大に反対し、国民食糧の安定確保に関する意見書を提出

わが国は先進工業国の中で、食糧自給率が最低です。政府は農産物の輸入拡大をしないことはもちろん、食糧の安定供給をはかるため、国内の農業生産の拡大、主要食糧の備蓄制度の確立など必要な措置を講じよう、内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣に対して意見を提出しました。

二年間お世話になります

町の新しい駐在員決まる

今年から二年間、町行政と区内自治の間にたち、パイプ役として活躍くださる各地区の新しい駐在嘱託員が決まりました。今後、町からの事務連絡、調査報告、その他町行政事務の補佐を行っていただきます。各駐在区ごとの組数、戸数、駐在嘱託員の氏名は次のとおりです。

【高森地区】

駐在区組数 戸数 氏 名
村山 七 九五 三森 幸喜
上在 一五 一二一 栗屋興志雄

天神 七 八七 白石 正
上町 九 七六 荒牧 重則
旭通 一九 二一九 野依 謙一
昭和 二一 二二七 和田 千敏

色見① 七 六〇 後藤 文明
色見② 一〇 七六 岩下 英喜
草部 一七 一二一 姫野金一郎

【色見地区】

洗川・大村 七 五一 後藤 則保
中原 八 五五 佐伯 誠登
前原・小倉原 六 六〇 後藤 文明

【野尻地区】

津留① 一一 一〇二 田上 俊一
津留② 六 六四 佐藤 敏夫
野尻① 七 四四 城井 一義

野尻② 六 三七 瀬井 達老
尾下① 九 五五 古沢 要吉
尾下② 四 二九 甲斐 安人
河原① 九 七〇 後藤 榮喜
河原② 四 二四 白石 富忠

交通安全はみんなのねがい——というものの、年とともに交通問題は深刻化しています。この春も全国的に交通安全運動がくり広げられますが、時あたかも新入学期と行楽期の真っ最中。毎年の行事ながら、住民の意識を高める運動を続けていくことが無事故、無違反につながる唯一の道であるため、私たち町民はお互いに注意し合って、事故ゼロを達成しようではありませんか。

新学期！

交通事故に注意

昨年の県下における交通事故の死者は百四十八人で、前年に比べ二十人（一五・五割）増加し、この二年続けて大幅に増加しました。また発生件数、負傷者数も、五十六年以降増加の一途をたどっており、交通情勢は引き続き厳しい状況です。

昨年の県下における交通事故の死者は百四十八人で、前年に比べ二十人（一五・五割）増加し、この二年続けて大幅に増加しました。また発生件数、負傷者数も、五十六年以降増加の一途をたどっており、交通情勢は引き続き厳しい状況です。

易な気持ちで運転されているのも原因の一つです。このため、これらを利用している皆さんにも正しいルールと運転マナーを指導していくことになっていきます。

行楽期の事故に多いのが、いわゆる「ドライバークラッシュ」です。ドライバークラッシュとは、睡眠不足のときに起きる交通事故で、正常時に比べて二倍も多くなっています。

行すると、いわゆる症状の徴候が現れます。とくに、西日に向かって走る午後三時ごろは、太陽の眩しさが目に入ると、大抵、運転ができません。このとき、車を止めて、目を休め、顔を洗う、水を飲む、など、目を休める工夫が必要です。

らに一層交通事故の防止を図るため、すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことを目標に、

易な気持ちで運転されているのも原因の一つです。このため、これらを利用している皆さんにも正しいルールと運転マナーを指導していくことになっていきます。

行楽期の事故に多いのが、いわゆる「ドライバークラッシュ」です。ドライバークラッシュとは、睡眠不足のときに起きる交通事故で、正常時に比べて二倍も多くなっています。

行すると、いわゆる症状の徴候が現れます。とくに、西日に向かって走る午後三時ごろは、太陽の眩しさが目に入ると、大抵、運転ができません。このとき、車を止めて、目を休め、顔を洗う、水を飲む、など、目を休める工夫が必要です。



安全運転を呼びかける交通指導員たち

58年度完工の交通安全施設

交通事故をなくすには、各人の自覚と安全施設を整える以外に方法はないといえましょう。町では「事故絶滅」を願う積極的な対策に乗り出していますが、五十八年度も次のような安全施設をつくりました。

- 【ガードレール】▽黒岩―大戸ノ口線七区▽味鳥―多々野線四十二区▽中村―論地線二十二区▽取首―水堤線八十八・五区▽社倉―蔵地線四十二区▽大切畑―下切線五区▽祭場―戸細線六十六区▽片山―蔵地線四十九区▽赤羽根通学路三十二区▽中原通学路五十五・五区▽牧戸線四十六区。
- 【カーブミラー】▽草部十四基▽野尻十九基▽色見六基▽高森三基
- 【区画線】▽大戸ノ―河原線千二百七十区▽色見環状線四千五百三十区。

訓練の成果競う

消防ポンプ操法大会



熱戦の小型ポンプ操法競技（高森小グラウンド）

町消防団のポンプ操法競技大会が三月十一日高森小学校グラウンドで行われ、小型ポンプの部、自動車ポンプの部に十一分団二十二部三百四十二人が参加しました。

町消防団のポンプ操法競技大会が三月十一日高森小学校グラウンドで行われ、小型ポンプの部、自動車ポンプの部に十一分団二十二部三百四十二人が参加しました。

町消防団のポンプ操法競技大会が三月十一日高森小学校グラウンドで行われ、小型ポンプの部、自動車ポンプの部に十一分団二十二部三百四十二人が参加しました。

町消防団のポンプ操法競技大会が三月十一日高森小学校グラウンドで行われ、小型ポンプの部、自動車ポンプの部に十一分団二十二部三百四十二人が参加しました。

町消防団のポンプ操法競技大会が三月十一日高森小学校グラウンドで行われ、小型ポンプの部、自動車ポンプの部に十一分団二十二部三百四十二人が参加しました。

「広報テレホンサービス」を開設

②22222……町の行事が気軽に聞けます

町では、みなさん方に町の行事計画を迅速にお伝えするため、四月一日から「広報たかもり」テレホンサービス」を開設しました。

町では、みなさん方に町の行事計画を迅速にお伝えするため、四月一日から「広報たかもり」テレホンサービス」を開設しました。

町では、みなさん方に町の行事計画を迅速にお伝えするため、四月一日から「広報たかもり」テレホンサービス」を開設しました。

町では、みなさん方に町の行事計画を迅速にお伝えするため、四月一日から「広報たかもり」テレホンサービス」を開設しました。

「火災予防に」と廃消火器で灰皿

野尻・草部分駐所



阿蘇広域消防組合野尻・草部分駐所（後藤光昭所長）はこのほど、役場、野尻農協などに風変りな灰皿（写真）を贈りました。

所の職員が火災予防のPR用に作ったものです。消火器のボディに穴を開けて改造、中にたまった吸い殻を捨てる時、消火器の筒に入るため、灰皿のふたをはずして返すだけと、至って便利なものです。

同分駐所は今までも、廃品を利用した消防人形、ドラム缶を使って高さが四層もある大きな消火器を作るなど、アイデアを生かして火災予防を呼びかけています。

◆火災に注意しよう

本町では、今年に入ってから四件の火災が発生しています。このままでは最悪のペースになりかねません。春は風が強く空気も乾燥しています。火の取り扱いには十分ご注意ください。

め、新鮮な行政情報を手早くお伝えすることにしました。

開設したテレホンサービスの電話番号は②22222。ここにダイヤルすると留守番電話に録音された声が町の向う一週間分の情報をお伝えします。

日祝、夜間など職員の勤務時間外でも自由に聞けますので、どうぞお気軽にご利用ください。